

概要



- 播磨灘は全国で3番目の規模を誇る牡蠣の産地で、沿岸の各産地でブランド化の競争が活発化。網干牡蠣は知名度の点で後塵を拝しており、認知度の向上と合わせて漁港の観光経営が目下の課題。
- 周辺の臨港地には大規模な化学工場が集積し、近年は工場夜景の鑑賞に向く広場も整備されている。
- 漁港施設・用地を活用した、地元で陸揚げされた水産物を利用したイベントの継続的な開催、漁船クルージングや、不定期航路事業許可事業者と連携した夜間遊覧事業の2つを柱に、漁協主導で海業の推進を図り、牡蠣養殖や地域の観光経営へ還流することを狙う。

海業の取組概要

①地元で陸揚げされた水産物を用いたイベント開催・漁港用地における牡蠣祭りの開催

直売所「網干じばさんひろば魚吹津」にて、水産物の消費増進、漁業者の所得向上を目的として地元水産物を使用したイベントを毎月第2日曜日に「魚吹津マルシェ」として開催。地元自治会及び地元企業協力で地元野菜販売なども行う。
 加えて、漁港施設を利用した牡蠣祭りを年2回企画する。

効果

- ・年2回の牡蠣祭りでは、一回あたり2千人の集客を見込む。
 - ・漁船クルージング・夜景遊覧事業は、一回に5～6人程度の乗客を見込む。
- 加えて、夜間遊覧事業と地元水産物を用いた食事の提供を組み合わせ、水産物の消費喚起及び地域活性化を図る。

協力体制

姫路市漁協 網干支所
 兵庫県中播磨県民センター
 姫路港管理事務所
 地元自治会・NPO
 不定期航路事業許可事業者

スケジュール

牡蠣シーズンには牡蠣祭り等イベント、オフシーズンには遊覧事業を、それぞれ中心として事業を計画する。



②漁船クルージング・夜間遊覧事業（牡蠣のオフシーズン(6～10月))

日中は家島諸島及び明石海峡大橋を望める播磨灘のクルージングを行う。夜間は地元企業の工場夜景見学のクルージングを不定期的に実施する。漁業者及び地元企業協力で、水産物の飲食提供と組み合わせる。